

●L端子検出へ変更

⚠ 注意

ディーゼル車は必ずL端子検出へ変更して下さい。



車両によって車室内からL端子線を接続出来るお車もあります。詳しくは技術サービスまでお問い合わせ下さい。

⚠ 注意

接触不良がおきない様に確実に取り付けて下さい。取付後、絶縁テープでエレクトロタップをテーピングして下さい。

⚠ 注意

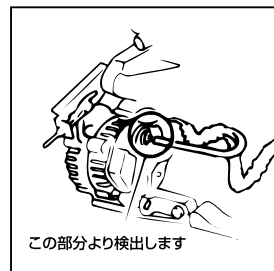
灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因になる恐れがあります。

- エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまう場合、L端子検出へ変更する事で、エンジン始動をより確実にを行う事が出来ます。
(動作確認後、必要な場合のみ変更して下さい。)

STEP-1

- 車両のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

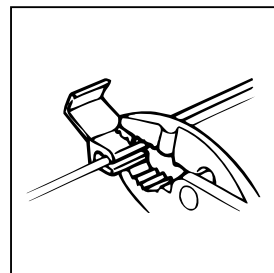
L端子線とはイグニッションONの時1~3V、エンジン駆動中12~14Vになる線です。
(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-2

- 安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

付属の安全センサーケーブルの灰色線を、車室内からエンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に、付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-3

- 安全センサーケーブルを本体に接続します。

OK

以上でL端子検出への変更は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来る事を確認して下さい。

